

国際理解講演会（私のアフリカ体験）



昨年12月15日(水)3,4限に3年生の国際理解講演会を実施しました。

神戸市外国語大学准教授の杉山精一先生をお招きして、「私のアフリカ体験～できることを探そう～」のテーマでご講演頂きました。本やインターネットだけでは知り得ない生の声に、驚きや新たな発見もありました。

<テーマ>

- ★海外に行くということ
→自分が「日々の生活で何を見ているのか」が問われる。
- ★出会いに導かれて
- ★支援とは何か？
- ★できることを探して



<皆さんへのメッセージ>

- ★自分の住む町を見つめよう！
自分の町を見つめること=世界を見つめること。その目線を持つことが大切です。
- ★一歩踏み出せば「出会い」があります！勇気を持って一歩踏み出そう!!



<生徒感想文より>

★私は今まで日常は当たり前のことで、疑問を持つことは少なかったけど、杉山先生のように「自分の疑問に仮説を立てて、実際に話を聴きに行ったり、自発的に行動を起こしたり」することで、分かることや本にも載っていない情報を得ることができると思いました。★私はまだ海外経験もそれぞれの国の文化に触れたことがなく、行ってみたいと思う反面、怖いとも思っています。しかし、海外に行くことで得られる価値観や視点もあると思うので、コロナが収まったら一歩踏み出してみたいと思います。★この講演会を聴くまでは、アフリカについてあまり興味がありませんでしたが、国によって宗教や文化が違うことや私たちの当たり前が別の国では特別であることを再認識しました。大学生になって、海外に行くときは自分にできることを少しでも探していきたいです。★杉山先生がアポなしで大使館を訪ねてしまうような好奇心旺盛なところには驚きました。海外の文化だけでなく、日本の文化や自分の住む町を見つめ、疑問を抱くことが大切だと思いました。★本の著者に会いに行って、お話を聴きに行くのはすごいと思いました。★「私、大人になれるかなあ」の言葉が印象的でした。アフリカの子どもの現実には衝撃を受けました。